



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

# 勝浦ロータリークラブ

## 49期 THE WEEKLY REPORTS

2011-2012年度

No. 28 / Total 2324

例会：2012年4月6日

発行：2012年4月13日

RI会長 カルヤン・バネルジー

第2790地区ガバナー

山田 修平

第5分区ガバナー補佐

釜田 英之

第5分区幹事

池田 哲夫

第2790地区地区委員  
広報・IT委員会

勝浦RC 関 一憲

クラブ研修委員会 齋藤 豊久

勝浦RC 齋藤 豊久

クラブ社会奉仕委員会 三橋 美子

鋸南RC 三橋 美子

R財団寄付金小委員会 伊藤 正人

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長 関 正己

幹事 漆原 摂子

クラブ会報委員長 渡邊 昌俊  
副委員長 齋藤 麻美子  
委員 石井 美香子  
渡邊 ヒロ子

### ◆4月13日(金)のプログラム

ゲスト卓話 朝日新聞・高木和男氏

### ◆今後の4月のプログラム

20日(金)ゲスト卓話

勝浦市役所・防災課 中村 泰輔氏

27日(金)ゲスト卓話

大多喜町・ALT レベッカ・オニール氏

### ◆5月のプログラム

4日(金)休会

11日(金)、18日(金)

クラブフォーラム 地区協議会

22日(火)3クラブ合同例会

(鴨川ホテル三日月にて)

25日(金)休会

※3クラブ合同例会へ振替

### ●会長挨拶 関正己会長

先月25日(日曜日)、勝浦RCから4名で鴨川の亀田医療大学の開校お披露目パーティに参加してきました。

医療大学というのは文字通り、医療に携わる看護師教育、検査技師教育、施設医療など、いわゆる医師が行う行為の他の行為を主に勉強する学部との事でした。開校当初は1学年80名4学年で300名余りにするようです。パネリストに亀田委員長、学長、青年会議所理事長、教育長の4名、その話の中で亀田病院、亀田医療大学が主体になり、長狭高校のークラスに医療系のクラスを設け、将来の方向を決めかねている学生たちに医療への道筋をつけ、さらに医療関係の職場を作る。それは、圏央道の開通を見据え都心から1時間半で来てしまう、海、山、肥よくな農地、空気の美味しい鴨川の立地を生かし、都会の富裕老人層をターゲットにし、定住してもらい、人口増加による購買力を上げ、医療或いはサービス業にと雇用を確保、人口流出を防ぐ。5万人の人口増加も夢ではない、と熱く語っていました。

(富裕老人層のことに抵抗を感じた。富裕でない人はここでも置いて行かれるのかと。)

では、勝浦はと言いますと、先般、猿田市長が力説していました防災についての指針はしっかりしていましたが、商業、観光についての指針はまだまだ見つかっていないように記憶しています。どんなことをしたら、この勝浦が人口流出を防ぎ、雇用を促進させられるのか、鴨川のように真剣に考える機関がしっかりしていないのではないかなど、客観的に思いました。(勝浦RCがやったら?)

その後、「トワエモア」の白鳥恵美子さんがお祝いに駆けつけて歌を披露してくれましたが、衰えることなく澄んだ美声には感動いたしました。

余談ですが最後に、抽選会が有り、なんと池田さんがトイレに行っている間に「うん」が付き、池田さんがトップで抽選に当たってしまいました。

### ●幹事報告 漆原摂子君

1. 5月22日(火)鴨川・勝浦・千倉3クラブ合同夜間例会

鴨川ホテル三日月にて 18:15点鐘 改めて出席をFAXで取ります。

### ●ニコニコBOX

○配偶者誕生日

### ◆高梨薫敏君

確か、私の家内は私より4つ半くらい年下なのですが、女性はなぜ、年下なのに威張っていられるのでしょうか。以上です。ありがとうございます。

## ○自主申告

### ◆古川範男君

先々週でしたでしょうか、名人会第6回目やらせていただきまして、90~100人くらいの人に来ていただきました。東日本大震災チャリティーをうったのですけれど、10万円近いカンパもいただきまして、今これをどうしようかと考えているところです。

ロータリーの大きな支援プロジェクトが動き出そうとしているのでそれにお役に立てていただけたらという気もしますし、かたや勝浦・御宿・いすみでは今南三陸町を応援しているので、そちらにもという思いもありますが、後ほど会長にも相談しまして決めたいと思っております。

## ○結婚記念日

### ◆西川佳璋君

結婚記念日をしておりまして、大変恐縮でございました。家に帰って家内に良くしておこうと思います。

### ◆小島幸雄君

結婚記念のお祝いいただきありがとうございます。

女房と二人で出掛けることはあまりなかったのですが、この前孫の大学のことで安田講堂にちょっと行きまして、急に若い頃の当時のことを思い出しました。私は以前40歳の時に、青年会議所の理事長をやっていました。理事長会議というのを京都の国際会議場という所で毎年行っております。

そこでちょうど安保騒動の最中でありまして、全国の会長がこれをどうしたらいいかというテーマで討議をしたことがあります。

その当時は安田講堂には東大の学生をはじめみんな屋根の上に上がって旗を振って騒いだことでもあります。

私も理事長の時にテーマがいろいろありまして、戦争など、日本の安全と防衛についてどう考えるかというようなテーマで討議したことを鈴木さんも覚えてるかと思いますが、そういったことを思い出しまして、行ってみたらそうとう痛んでいまして、40年の歴史というのはやはり争えないなあと感じました。

### ◆鈴木覚三郎君

私おかげさまで結婚してから53年目になりました。皆さまには心配をかけていたかもしれないですけど、私の子どもは3人も娘で、やまけやはどうなるのかと心配してくれている動きもあったかと思いますが、6人のうち1人だけ女の子がいて、今24歳で御殿場で看護師をやっております。それが今年の11月頃、鈴木さんの姓に、戸籍上私の長女になりました。それから12月に結婚しまして、どうやら私に似ているのか決めた事はどんどん進めるタイプらしくて、戸籍上でいう私の孫がお腹に宿りました。それはまだ男か女かわかりません。そんないろいろなことがありまして、やまけやの、私25代目ですけど、27代目が決まったということで、ありがとうございました。

## ●PET報告

### ◆古川範男次年度会長

この、ペッツは当然私初めての参加でしたが朝10時半の点鐘で4時くらいまで、6時間もの間入れ替わり立ち替わりいろんな方から話をいただきまして、もう完全に洗脳され度肝を抜かれて帰ってまいりました。

次年度は何でも特別な年になりそうなのです。と言いますのは、1番目にも書きましたR I次期会長は田中作治さん。矢代ロータリークラブの出身だそうで、日本人として30年ぶり3人目のR I会長だそうです。彼のメッセージが最初の方にビデオで紹介されまして、それで私の心に響いたものをここに3点ほどまとめました。

1番にまず、皆さん同じことをおっしゃっていると思うのですけれど、来年度のテーマ「奉仕を通じて平和を」(Peace for service)ということをかかげておりました。例えば、日頃私も感じていますが、皆さんご存知の森光子さんという女優がいますよね。あの方、非常に立ち振る舞いがきれいなのです。着物の着方が非常に素晴らしいです。障子の開け閉めなんかもきちっと、様になっています。だから時代劇なんかをやっても、ぴったりと合うわけです。ところが若い女の子はどんなに美形でも、着物を着て何かやろうとしても全然様にならないわけです。着物の着方はだめ、戸の開け閉めなんかもめちゃくちゃで、なぜそうかと言うと日頃からそういう風に

染みついているのです。同じように、奉仕というのも口で言っているだけではだめなのです。要するに、身体に染みついていないとだめなのです。困っている人がいたら、理屈なんかは抜きにさっと手を差し伸べる、そして助けを求められたら、自分の損得は考えずにすぐに動く、こういう風にならなくては、本当の奉仕ではないと思います。つまりここに書いてある彼の言葉は、奉仕とは心であり、生き方であると、口ではなく、また形式でもありません。思いやりの心を重んじる、そして生活のあらゆる場面で奉仕をすることです。ロータリーに来たら奉仕だ、家に帰ったら何もしない、それじゃだめなのです。24時間、1日1日奉仕です。そういう風に身体に染みつけば、初めてそれが様になってくるのです。そうするとその矢印のように考え方が変わってくるというわけです。競争よりも協力、人と手を携える、お互いの欠点を補いながら、長所を助け合い伸ばしながら、それと同時に自分の目標も考えます。そうすると周囲に感謝の気持ちが出てきます。何を隠そう、これは仏教精神そのものなのです。本来仏教、お釈迦様が説いていることはこれです。自分も他人もない、もう誰か困っている人がいたら自分だと思えばいいのです。四の五の言わずに、困っている人にはさっと手を差し伸べるといふ精神です。実はロータリーのこのバッジ、これは仏教の「転法輪」といって、これと同じような形、同じようなイメージなのです。「転法輪」というのは「転じる法の輪」です。お釈迦様の言った、合理的な考えを回り、そして広め転じていくことです。その輪がまさにロータリーのマークとそっくりなのです。私、ロータリーに入った時にほとんど同じだなと思っていましたけれど、ここの奉仕的な考えも、まさに仏教の精神と同じでございます。田中さんも、ロータリークラブ独自の標語「調和の奉仕」、これは最高の形であるとおっしゃっております。ぜひそれに向かって一歩一歩、歩いていきたいところです。ぜひ、それを具体的に確認する場として2012-2013年度、3回世界フォーラムを開くことのようなのです。ベルリン、ホノルル、広島。広島にはぜひ、国内でやるわけですから皆さんの参加を

お願いしたいと思っておりますということをおっしゃっていただきました。そういう田中さんの意気込みを受けまして、2790地区のガバナーエレクト、徳井さん、この方は弁護士だそうです。私は日頃、弁護士が日本を滅ぼすんじゃないかと危惧しているわけですが、徳井さんのお話を聞いていますと、弁護士にも真面目で良い人がいるなど感じました。彼の言葉は田中さんの言葉と同じようなことが多く、共通しているのはやはり奉仕という言葉、これは我々ロータリーの活動の土壌です。土が良くなければ木も良くなりません。まずこれを徹底して身体に染み込むように植えつけてそれから職業奉仕に邁進するということだと思っております。そこでそこから生まれたプロジェクトなどが3つにまとめられています。

まず1つ目に世界フォーラム。これを成功させたいので、ぜひ協力をお願いしたいということです。2番目に、ロータリーの3つの優先項目がある、ということです。それに一層力を入れて頂きたいということです。1つ目はクラブのサポート、および強化です。会員の維持、増強のために研修に力を入れ、一人ひとりのロータリアンが新しいロータリアンを開拓できるような力量を備えていくことが大切です。2つ目に、人道奉仕です。書いてあるとおりなのですが、この中で強調しておられたのは新世代です。具体的なプロジェクトを立ち上げていきたいと、常設プログラムに加え何か新しいものを実施していただきたいということをおっしゃっていただきました。これは単に新世代の単一委員会ではなく、複数の委員会でいろいろ知恵を出し合ってもらいたいということをおっしゃっていただきました。要するに、一人でやってもだめ、二人三人寄れば文殊の知恵が出るということのようです。3つ目は、公共イメージと認知度の向上です。我がクラブもポスターの作成をしました。そういったことはイメージ向上ということでとても大事だということなのです。田中さんは、ロータリアン一人ひとりも広告塔であるという風におっしゃっていただきました。どこでも見られているということです。見られていると言っても無理をすると化けの皮が剥がれますから、日頃から「自分はロータリアンだ」という立ち振る舞いを常に考え、それが身につくようにしておくということです。

3番目に、奉仕を通じての平和、その精神で世界の平和に向けて邁進してほしいということです。R Iでも、地区でもやるのでしょけれども、勝浦ロータリーでも、あまり大それたことはできなくても、地区の意識を高めたり意識を鼓舞するようなプロジェクトを立ち上げるということも、ガバナーの意向に沿うのではないのでしょうか。

そして、今まで奉仕委員会というのは4つだったのが、新世代委員会というのをはっきりと奉仕委員会に加え5つになったということです。そしてこの中に従来入ってありました青少年交換が入ります。これはロータリーインターナショナルの新世代奉仕プログラムにはそうなっているということで、それに辻褃を合わせたということのようです。

また、私が理解できなかったことなのですが4番目のロータリー財団が激変するというので、パストガバナーの織田さんが資料を駆使して説明してくれたのですが、本当によく理解できなかったです。またよく目を通さないといけないなと思いますが、2017年にロータリー財団は設立100周年を迎えるということで、それを機に大幅に改革をしたいということのようです。なにか良いプロジェクトであれば、大きな融資が受けられるということで斬新なプロジェクトがあればと思うのですが、これは一朝一夕にはいかないのかもしれませんが。皆さんのアイデアを募集します。

最後に、いろいろ洗脳されて頭がぼーっとしてしまっていたのですが、そこに頭にふっと入ってきた言葉なのですが、日本人ほど日本や日本人について考え、物を言う国民は少ないのです。日本人とは、日本とは一体なんなんだ、と。例えば、ノーベル賞をとった川端康成は「美しき日本」「美しき日本の私」や、哀れであるとか思いやりであるとか、いろいろなことを言ったそうです。大江健三郎は別の言葉で日本の美しさを表わしてしまして、「あいまいな日本の私」と言ったそうです。あいまいなというのは、別の言葉で言いかえるととても包容力があるということです。

新しいことを何でも受け入れるということになります。ロータリーも時代に合わせて変わらなければいけないとするなら、日本は新しい先進的リーダーになりうるのではないかという風に私は思っております。R Iを引っ張り、地区を引っ張る、そのくらいの土壌が日本にはあると思います。その中でロータリーに頼るのではなく、自分達がロータリアンとしていろいろなことを発想・企画し、リードしていけたらという方向に持っていけたらと思っております。とにかく私達日本は壮大な実験場に身を置いているのだという風に思って、皆さんの考えやアイデア、企画を募集したいと思います。

※今回急用が入り、例会を欠席してしまい、写真撮影をすることができませんでした。申し訳ございませんが、写真なしの週報となってしまいました。

渡邊 昌俊

### 出席報告 4月6日(金)

#### 出席委員会 手塚 明宏 委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
37名	28名	2名	7名	81.08%

欠席：浅野玄航、斎藤義典、林重利、前田安彦、吉野裕子、渡辺保、渡辺幸男